

2023年四国アイランドリーグ plus 公式戦ルール概要

試合方式

- (1) 原則として3月から6月上旬を前期、6月下旬から9月を後期として公式戦を開催する。前期開幕は3月25日、後期開幕は6月24日とする。
- (2) アイランドリーグ(IL)各球団は、前期34試合、後期34試合の公式戦を行う。
- (3) IL各球団は各期4試合、年間8試合、福岡ソフトバンクホークスと定期交流戦(ソフトバンク杯)を行う。その定期交流戦での個人成績ならびに試合の勝敗は、公式戦の成績に含める(福岡ソフトバンクホークス選手の個人成績ならびに試合の勝敗は公式戦の成績に含まれない)。
- (4) 公式戦(定期交流戦を含む)の試合は9回までとし、延長戦、引き分け再試合は行わない。
- (5) 予備日を含み、悪天候等による試合中止で全日程が消化できなかった場合は、公式戦を打ち切り、その時点の成績で優勝を決定する。
- (6) 一部の試合およびダブルヘッダー試合、雨天代替試合は、7イニング制とする。ただし両チームが代替試合の日程を公表するまでに合意した場合、9イニング制での実施も可能とするが、ダブルヘッダーで代替する場合には7イニング制とする。

選手・練習生登録

選手登録数は25名までとし、公式戦・定期交流戦に出場することができる。練習生登録の選手は、公式戦・定期交流戦には出場できない。所属球団は、選手と練習生の合計で40名まで登録できる。

指名打者

当リーグは指名打者(DH)制を採用する。

予告先発

当リーグは予告先発制を採用する。ただし、福岡ソフトバンクホークスとの定期交流戦については採用しない。

規定打席・規定投球回数・個人成績

- (1) 規定打席は、所属球団の試合数×2.7打席とする。
- (2) 規定投球回数は、所属球団の試合数×0.8回とする。

優勝(順位)決定方法

- (1) 各期の優勝は、公式戦と定期交流戦の前期34試合、後期34試合の勝率により決定する。引き分けの試合については、再試合を行わず、勝率の計算から除く。
勝率 = 勝試合数 ÷ (勝試合数 + 負試合数)
- (2) 各期公式戦終了時点で勝率が同率の場合には、下記の順に優位な球団を優勝球団とする。その他の順位を決定する際も同様とする。
①同率球団間の当期の対戦成績 ②当期の得失点差 ③当期の総得点数

兼任選手の出場

- (1) 当リーグは監督及びコーチの兼任選手を認める。
- (2) 監督及びコーチが兼任選手として公式戦に出場する場合は、各球団1試合につき2名までとする。
ただし、監督及びコーチが兼任選手として公式戦に出場する場合は、監督とコーチの合計2名以上が必ずベンチで指揮をとるものとする。
- (3) 監督及びコーチが兼任選手として公式戦に出場する場合は、各球団は事前に監督及びコーチを選手として登録申請を済ませること。

年間総合優勝球団決定方法：トリドール杯 チャンピオンシップ (CS)

- (1) 前・後期それぞれの優勝球団間で、原則として全 3 戦を行い、2 戦先勝した球団が優勝となる。
- (2) 同一球団が前・後期優勝した場合、当該球団に 1 勝のアドバンテージが与えられ、年間勝率 2 位の球団と全 2 戦を行う。
- (3) 前期優勝球団が CS 第 1 戦、第 3 戦のホーム権を獲得し、後期優勝チームが CS 第 2 戦のホーム権を獲得する。
- (4) 9 回を終了して同点の場合は延長戦を行う。延長戦は原則として決着がつくまで行うが、球場の使用時間制限等、各球場のルールに従い、引き分けになる場合がある。
- (5) 全 3 戦を終了して、対戦成績が 1 勝 1 敗 1 分けもしくは 3 分けの場合は、予備日にて追加で 1 試合を行い、その試合に勝利したチームを優勝とする。
- (6) 雨天等により、予備日を含めて全ての日程を消化できなかった場合は、その時点での対戦成績で勝敗を決定する。
- (7) 予備日を含め、対戦成績が五分の場合には、下記の順に優位な球団を年間総合優勝球団とする。
 - ①CS の失点率 (総失点÷総イニング数)
 - ②公式戦の年間通算勝率
 - ③公式戦の当該カードの年間対戦成績

ソフトバンク杯優勝球団決定方法

- (1) 福岡ソフトバンクホークスとの対戦 8 試合の勝率によって決定し、引き分け試合は再試合を行わず、勝率の計算から除く。
 - ◆勝率=勝試合数÷(勝試合数+負試合数)
- (2) 8 試合終了時点で勝率が同率の場合には、下記の順に優位な球団を優勝とする。
 - 1) 得失点差
 - 2) 総得点数→1、2 でも決定できない場合には、該当球団すべて優勝とする。